

ほけんだより 10月号

2020年10月1日 発行
社会福祉法人尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズⅡ
看護師

夏の暑さもおさまり、秋らしくなってきました。さわやかに吹く風が秋の深まりを知らせてくれます。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあるので、手洗い・うがいや衣服の調節などをして、かぜを予防しましょう。

《9月の感染症情報》

突発性発疹	…	1名
アタマジラミ	…	5名
手足口病	…	16名
RSウイルス感染症	…	1名
ヘルパンギーナ	…	1名

予防接種を受けよう！

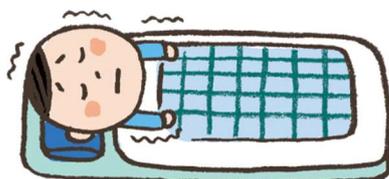
感染力の強いインフルエンザにかかりにくくなり、発病しても重症化するのを防ぎます。

接種を受けてから抗体ができるまでには約2週間かかるので、10～12月頃には接種を済ませておきましょう。



気を付けて！ インフルエンザ脳症

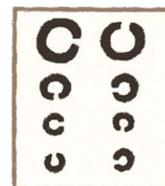
インフルエンザの合併症の一つで、主に5歳以下の子どもに発症します。発症から比較的早い時期に、けいれんを起こす、呼びかけても反応しないなどの意識障害の他に、急に怒ったり、怯えたり、うわごとを言うなどの言動が見られることもあります。このような症状が出たらすぐに医療機関を受診してください。



10月10日は 目の愛護デー



子どもの目は毎日発達していて、両目の視力機能は6歳頃にほぼ完成と言われています。その後に視力が低下するのは、幼い頃の姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。自然の中で十分に遊ばせ、外の景色をたくさん見せることでお子さまの視力を育てていきましょう。



こんな見方は危険信号！

- ・テレビや絵本に近付いて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めて見る
- ・上目遣いに物を見る
- ・目つきが悪い、目が寄っている
- ・見る時に首を曲げたり、頭を傾けたりする

このような症状が見られると斜視や弱視の可能性が考えられます。子どもは視力が悪いことを自覚できないため、上記のような症状がないか普段から気にかけて見るようにしてください。